



娘のホランちゃん。8歳です。

今回の帰国では4年ぶりに家族と会いました。お互いを抱きしめ合い、涙が出ました。私の両親も元気で、娘のホランちゃんはとても大きくなりました。私を見るたびに笑顔をふりまいてくれるホランちゃんがとても可愛かったです。短い時間でも家族と一緒に楽しく過ごしました。

交流支援員 ノミンの モンゴルレポート



11月2日から11月10日まで、日南町と友好交流関係があるモンゴル中央州ゾーンモド市に出張で行ってきました。

今回は、出張中の休日に家族と過ごした時間についてレポートします！

モンゴルへ到着した翌朝、モンゴルの街並みの様子を撮影するために、チンギスハーン国際空港へ戻りました。自分のふるさとのゾーンモド市が、青空や金色の太陽の下、穏やかで、美しく見えました。とても広く真っ白な草原に太陽の光が差しているのを見たとき、とても心が落ち着きました。



チンギスハーン国際空港

チンギスハーン国際空港は、モンゴルの中央州セレグレン町のフシギン・フンディーという所に建設され、2021年に開港しました。首都・ウランバートルから52km、ゾーンモド市からは10kmの所に位置しています。また、ウランバートルからチンギスハーン国際空港の方向に、モンゴルで初めての32kmほどの高速道路が建設されました。

チンギスハーン国際空港は、モンゴルの広い草原の中でキラキラ輝く宝石みたいなものと思えました。空港の周辺は交通量が増加し、貨物輸送が盛んになります。これからこの辺りがますます発展することを願っています。

モンゴルには、ウランバートルの北東約70kmの所に、「テレルジ国立公園」があります。旅行でモンゴルを訪れた観光客のみなさんの多くがこの場所を訪れます。ここでは、馬に乗り、景色を眺めることができます。今回の滞在中、私は家族と一緒にテレルジ国立公園に行きました。



テレルジではワシと一緒に写真が撮れます！

テレルジへ向かって車を走らせている間、父はウランバートルの交通渋滞の問題について話していました。モンゴルは厳しい気候なので、大雪による雪害の危険性があります。自然災害により、すべての家畜を失ってしまった人々もいます。そういった人々が働き口を求めて、ウランバートルに移動することが増えてきました。ウランバートルの人口は増加し、人口の密集も起こっています。また、公共交通機関の不足により、冬はどの家も自家用車で通勤するので、道路交通量が多くなりました。

モンゴル中央州エルデネ町に、チンギスハーンゆかりの場所があります。そこにチンギスハーン像テーマパークが建設されました。ここはウランバートルから約53kmほどの場所に位置しています。高さ40mを誇る巨大なチンギスハーン騎馬像があり、チンギスハーン像の中では世界一の大きさといわれています。



チンギスハーン騎馬像

この騎馬像は、下から見上げるだけではなく、登ることもできます。騎馬像の中にエレベーターがあり、ちょうどチンギスハーンが馬にまたがる鞍のあたりまで登ることが出来ます。そこからさらに外に出て、馬の頭のあたりまで階段で登ることが出来ます。そこに展望台があり、とても見晴らしのよい景色と大草原を望むことができます。みなさんもモンゴルを訪れることがあれば、ぜひ登ってみてください！



騎馬像に登って記念撮影

